

なかつか 亮



日本共産党 白石たみお 当選

29号線大型道路・超高層ビルからくらし・福祉第一に

主な政党	今回 都議選		昨年 衆議院比例		衆議院比例 と都議選の差
	得票数	得票率	得票数	得票率	
自民	48002	37.7%	47175	25.1%	827
民主	25429	19.9%	29036	15.5%	-3607
公明	21016	16.5%	16777	8.9%	4239
共産	15338	12.1%	13562	8.8%	1776
みんな	9367	7.4%	22065	11.8%	-12698
維新	8076	6.3%	39879	21.2%	-31803
合計	127228	—	157362	—	-30134

品川区における都議選結果について

品川の結果

品川選挙区の結果について、政党別に昨年衆議院比例票と比較(上参照)。低投票率となる中、共産党は1776票増。みんなの党と維新の会は得票を大幅減。東京全体でも同様の結果が示され、共産党は都議選で8議席から17議席へ躍進しました。

共産党の議席増は暮らしと景気、原発ゼロ、憲法守れなど住民の願いを託していただいた表れ。都議会では与党の自民・民主・公明・み・維新が進める福祉・く

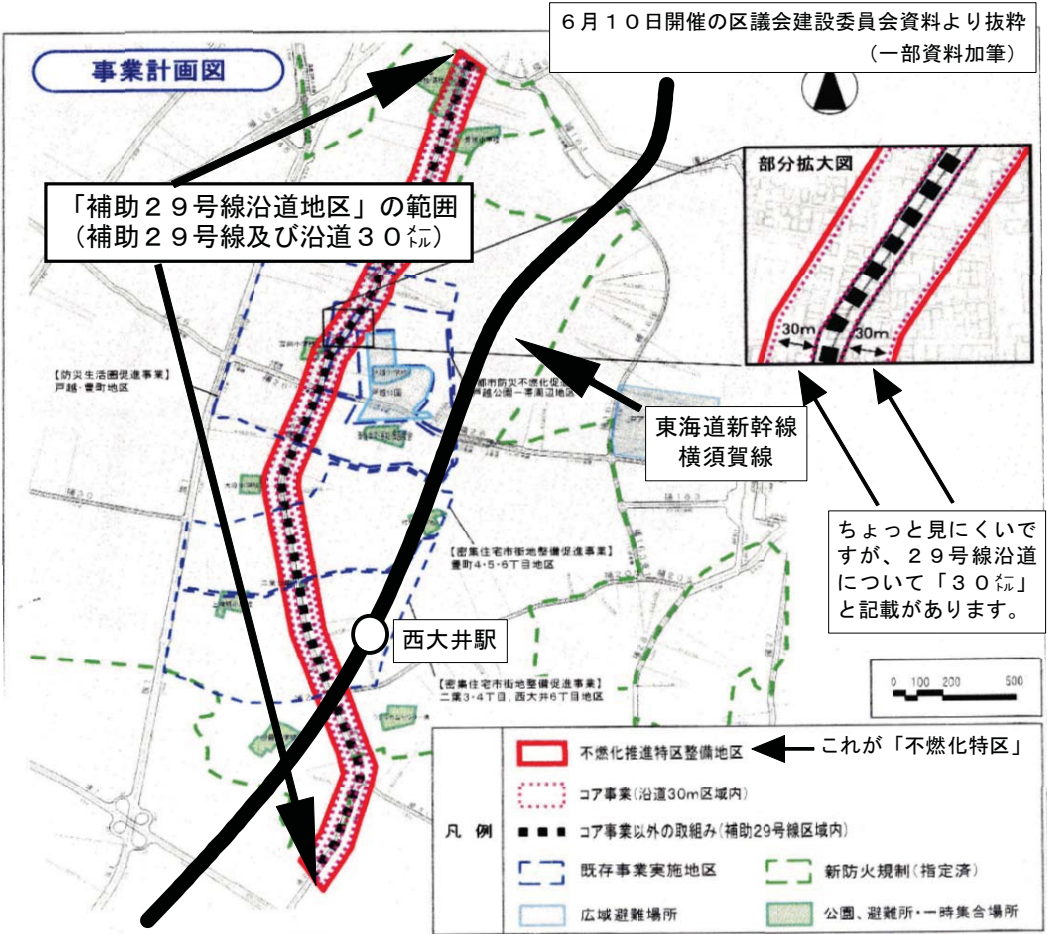
23日(日) 投票票の都議選にて共産党の白石たみおが初当選。都議会オール与党が進める大型道路や駅前再開発を批判し、「認可保育園や特養ホームなど、くらし・福祉応援こそ第一に」と訴えました。東京全体では共産党は17議席を獲得し都議会第3党に躍進しました。

らしに冷たく、29号線など道路建設や開発推進の猪瀬都政、安倍政権が進める暮らし破壊の「アベノミクス」への厳しい審判を示すものです。また国保料値上げ、通知が各家庭に郵送、さらに来年4月は消費税増税。「住民に負担増を求めながら、住民追い出す道路建設など無駄な公共事業を進めるとは納得いかない」との声も強くあがりました。29号線など道路建設の中止、認可保育園など暮らし・福祉こそ急げ。公約実現に力を尽くします。

品川区が不燃化特区実施に向け

補助29号線沿道地区 9月の正式申請めざす

6月10日開催の区議会建設委員会資料より抜粋
(一部資料加筆)



どこまでも住民無視

都議選直前の6月10日(月)、品川区は区議会建設委員会にて新たな方針を示しました。

それは道路建設とあわせて導入する不燃化推進特区整備地区の5地区追加で、その1つを「補助29号線沿道地区」と発表。6月末までに予備申請を提出し、東京都と調整。9月に正式申請し、来年3月下旬までに「不燃化特区」の認定を目指す。考え、幅20mの補助29号線道路を「完成を予測して」などと説明し、その沿道30mの範囲で新たに都市防災不燃化促進事業を導入。耐火建築物への建て替えを進めるため、「戸別訪

問」「専門家派遣」

「老朽木造住宅の除却費助成」等の取り組みを示しました。

検討中の用途・容積率変更、助成額など詳細は不明ですが、沿道30mについて現状の老朽木造住宅を433棟(旧耐震基準・裸木造住宅)と説明し、平成32年までに204棟の「耐火・準耐火構造物への建て替え」を目標と設定しました。

住環境を壊す29号線道路に強い反対の声が上がり、2ヶ所の地域で都・区主催の住民説明会すら未開催のまま、今度は大型道路の沿道に新たな事業の導入を進めるとは、どこまでも住民無視。許せません。なかつか亮

次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

7月26日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。急なご相談はいつでもご連絡下さい。

連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231